様式第１１号（第９条関係）

チェックリスト

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 設置者 | 住　所 |  |
| 氏　名 |  |
| 設置場所 |  廿日市市 |
| 型式、処理対象人員 |  型 人槽 |
| 浄化槽工事業者 | 住　所 |  |
| 名　称 |  |
| 代表者 |  ㊞ |
| 工事完了日 |  　　 　年 　 月 　 日 |
| 検 　査 　項 　目 | チェックのポイント | 適 | 否 |
|  １ 流入管きょ及び放流管き ょの勾配 | 　汚物や汚水の停滞がないか。 |  |  |
|  ２ 放流先の状況 |  放流口と放流水路の水位差が適切に　保たれ、逆流のおそれはないか。 |  |  |
|  ３ 誤接合等の有無 |  生活排水が全て接続されているか。 |  |  |
|  雨水や工場廃水等が流入していないか。 |  |  |
|  ４ 升の位置及び種類 |  起点、屈曲点、合流点及び一定間隔　ごとに適切な升が設置されているか。 |  |  |
|  ５ 流入管きょ、放流管きょ 及び空気配管の変形、破 　 損のおそれ |  管の露出等により変形、破損のおそ　れはないか。 |  |  |
|  ６ かさ上げの状況 |  バルブの操作などの維持管理を容易　に行うことができるか。 |  |  |
|  ７ 浄化槽本体の上部及びそ 　の周辺の状況 |  保守点検、清掃を行いにくい場所に　設置されていないか。 |  |  |
|  保守点検、清掃の支障となるものが　置かれていないか。 |  |  |
|  コンクリートスラブが打たれているか。 |  |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 検　 査　 項　 目 |  チェックのポイント | 適 | 否 |
|  ８ 漏水の有無 | 　漏水が生じていないか。 |  |  |
|  ９ 浄化槽本体の水平の状況 | 　水平が保たれているか。 |  |  |
|  １０ 接触材等の変形、破損、 固定の状況 | 　嫌気ろ床槽のろ材及び接触ばっ気槽　の接触材に変形や破損はないか。 |  |  |
|  しっかり固定されているか。 |  |  |
|  １１ ばっ気装置、逆洗装置及　 び汚泥移送装置の変形、 破損、固定及び稼働の状況 | 　各装置に変形や破損はないか。 |  |  |
| 　しっかり固定されているか。 |  |  |
| 　空気の出方や水流に片寄りはないか。 |  |  |
|  １２ 消毒設備の変形、破損、　 固定の状況 |  消毒設備に変形や破損はないか。 |  |  |
|  しっかり固定されているか。 |  |  |
|  薬剤筒は傾いていないか。 |  |  |
|  １３ ポンプ設備（流入ポンプ　 及び放流ポンプ）の設置、　 稼動状況 |  ポンプますに変形や破損はないか。 |  |  |
|  ポンプますに漏水のおそれはないか。 |  |  |
|  ポンプが２台以上設置されているか。 |  |  |
| 　設計どおりの能力のポンプが設置さ　れているか。 |  |  |
|  ポンプの固定が十分行われているか。 |  |  |
|  ポンプの取りはずしが可能か。 |  |  |
|  ポンプの位置や配管がレベルスイッチ　の稼働を妨げるおそれはないか。 |  |  |
|  １４ ブロアーの設置、稼動状　 況 |  防振対策がなされているか。 |  |  |
|  固定が十分行われているか。 |  |  |
|  アースはなされているか。 |  |  |
|  漏電のおそれはないか。 |  |  |
| 　上記のとおり確認したことを証します。　　　　　 　 年 　 月 　 日　　　　　　　　　　担当浄化槽設備士氏名　　　　　　　　　　　　　　　　 ㊞ （浄化槽設備士県登録番号　　　　　　　　　　　） |

注　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ列４番とする。